

2.7.2 おひとりさま支援 プロジェクト“きづな”(東京都北区)

【概要】

NPO法人EBH推進協議会は『おひとりさま支援プロジェクト“きづな”』を立案、総務省 平成22年度地域雇用創造ICT絆プロジェクトとして採択されました。

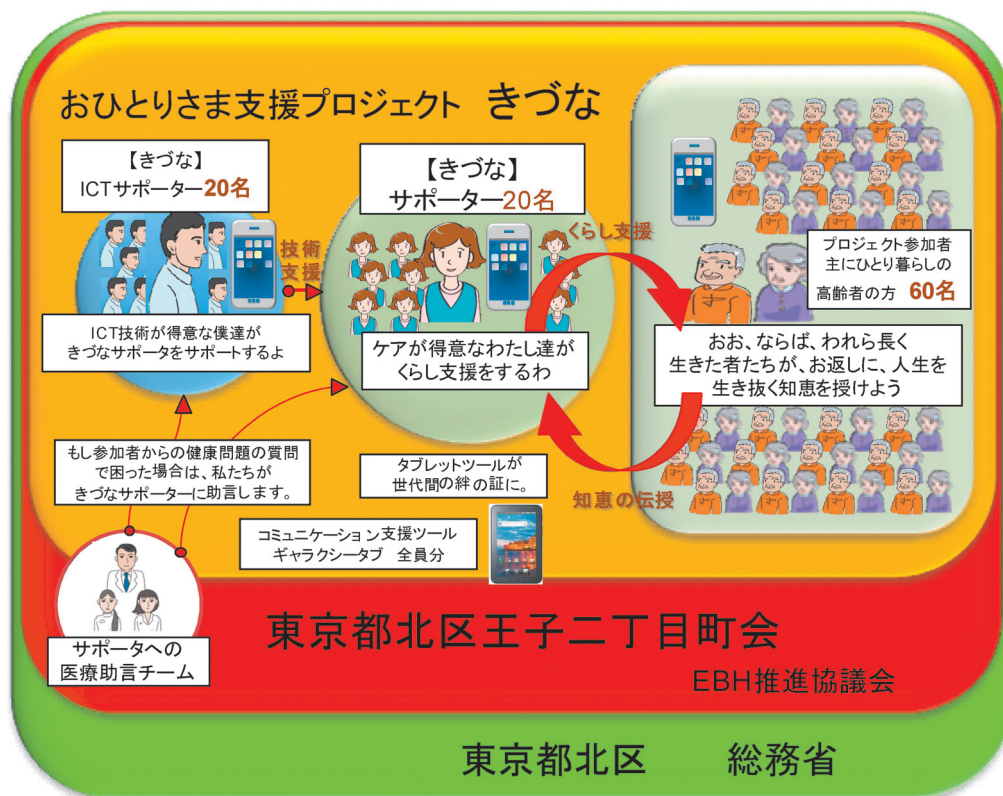
本事業は、地域の意欲ある主婦・若者たちが高齢者の生活を遠隔で見守り、生活支援を行う事業構築を目指しています。

今回は、専用のコミュニケーション業務管理システムの構築とハード整備を行い、今後の事業基盤を整備し、そのうえで、東京都北区王子二丁目町会の全面的なご協力のもと、地域住民有志参加のICT人材育成を行い、受講者約35名に対して「きづなサポーター」「ICTサポーター」の修了資格を付与いたしました。この人材育成では、64名の高齢者への生活支援・見守り事業の実施検証を約1ヶ月間にわたり行いました。

本事業では、サポーターと対象者全員が共通のICTコミュニケーションツールとして、スマートタブレットを持ちました。これにより、サポーター陣が対象の方と同じ画面で利用方法を分かりやすく説明でき、誰でも簡単にサポートができると非常に高い評価を受けました。

【コラム】

なお、3月11日の東日本大震災では、震災直後、担当の高齢者の安否確認にこの「きづな」システムが自主的に活用されました。今回の協力者からは、本プロジェクトが安否確認のために大変有効であるという評価をいただくと共に、事業としての高い可能性を評価いただき、その発展的継続を強く期待されています。



2 先進的な事例紹介

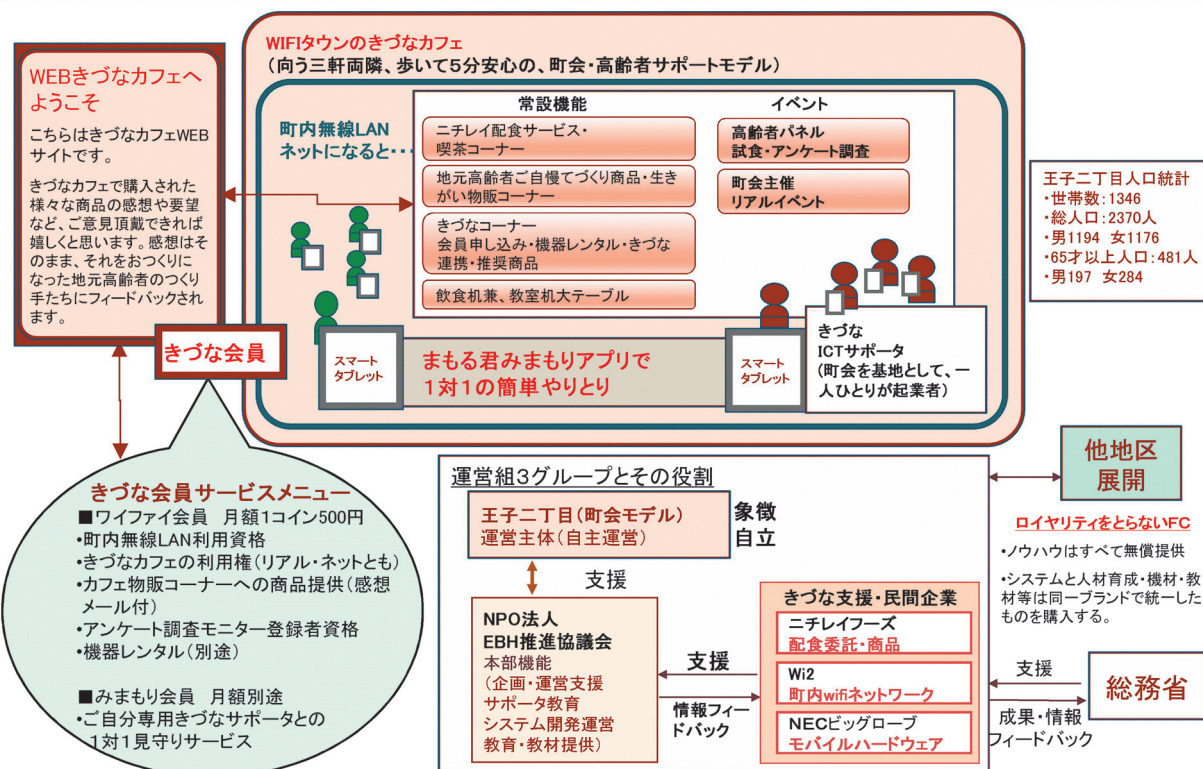
今後の展開として、王子二丁目で町内会会長の土地に「きづなカフェ」を作って配食・喫茶や物販などのコーナーや機器に関するサポート体制（機器の貸出・設定、使い方伝授）を整備し、交流やリアルイベントの会場としても活用する仕組みを仕上げ、高齢者をターゲットにするにもどのような進め方が適切か、モニターを募って練っていく予定です。

リアルなきづなカフェとネット上のアプリによるつながりとして、月額ワンコイン（500円）でのサービス提供実現を目指しています。無線LANを使った1日1回の簡単なコミュニケーションが、非常に大切なきづなになります。

王子二丁目が主催者、EBH推進協議会が事務局となって、きづなサポーターには1人あたり100時間の研修を行い、本プロジェクトで高齢者をサポートできる技能を身に付けます。町内の無線LANにはワイヤ・アンド・ワイヤレスのWi-Fi網を使って、商店街に沿って無線LANを広げていく予定です。他の地域への横展開について、総務省、東京都、商工会議所などと話を進めています。なるべくロイヤリティ等取らない方向で細く長くやっていきたいと考えています。

きづなプロジェクトNEXT

防災・防犯・みまもりをICTきづなで支える



(問い合わせ先)

NPO法人EBH推進協議会「おひとりさま支援 プロジェクト“きづな”」事務局

e-mail: ebh@ebh.or.jp

株式会社ワイヤ・アンド・ワイヤレス

e-mail: wifi@wi2.co.jp